

学校施設の長寿命化に関するアンケート調査

【集計結果】

宇部市

令和7年12月

I. アンケート調査の概要

1. 目的

学校施設長寿命化計画の改定にあたり、公共施設マネジメントや学校施設に対する取り組みの認知度や今後の学校施設に求められる取り組み等に関する意向を把握し、学校施設長寿命化計画の改定の基礎資料及び今後の学校施設の方向性の検討に資することを目的とし、アンケート調査を実施しました。

2. 調査方法及び回収状況

調査の対象	・小中学校教職員 ・学校運営協議会委員 ・小中学校 PTA 役員
調査方法	Web アンケート
調査期間	令和 7 年 10 月 13 日～令和 7 年 10 月 24 日まで
配布数	・小中学校教職員：733 ・学校運営協議会委員：458 ・小中学校 PTA 役員：193
有効回収数 (回収率)	・小中学校教職員：398 (54.3%) ・学校運営協議会委員：77 (16.8%) ・小中学校 PTA 役員：103 (53.4%)

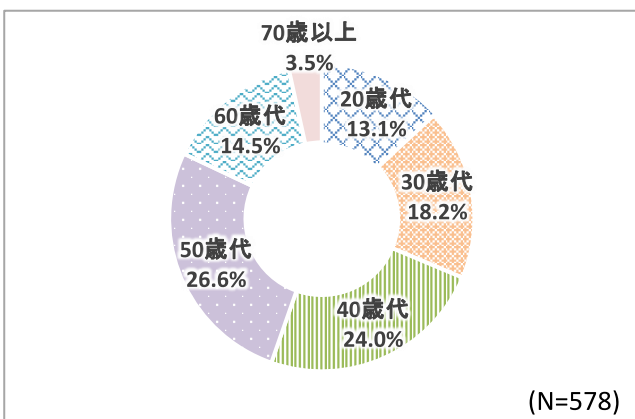
3. 調査結果利用の留意事項

- 項目及びグラフ中に表示された「N = 」は、各設問の回答者数を示しています。
- 割合を算出している項目に関しては、小数点第 2 位で四捨五入しているため、割合の合計値が 100%にならないことがあります。

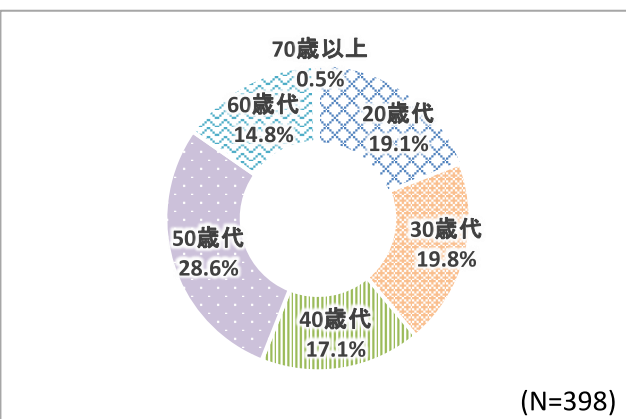
Ⅱ. 調査結果

Q1. あなたの年代をお答えください。

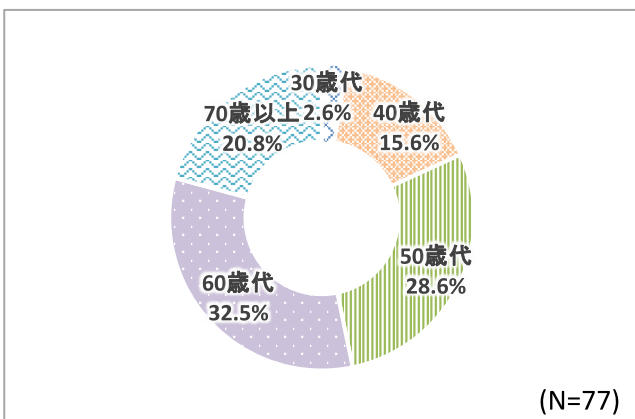
【総計】



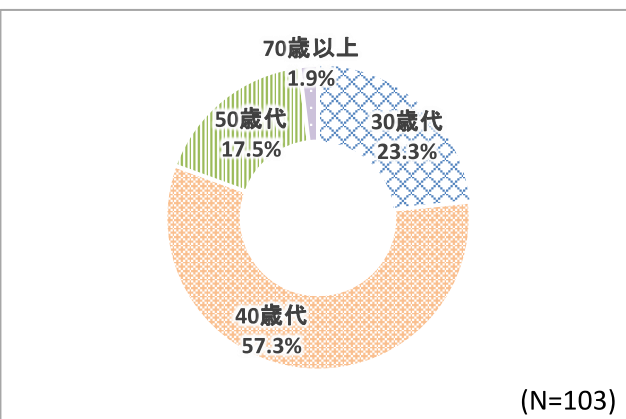
【教職員】



【学校運営協議会】

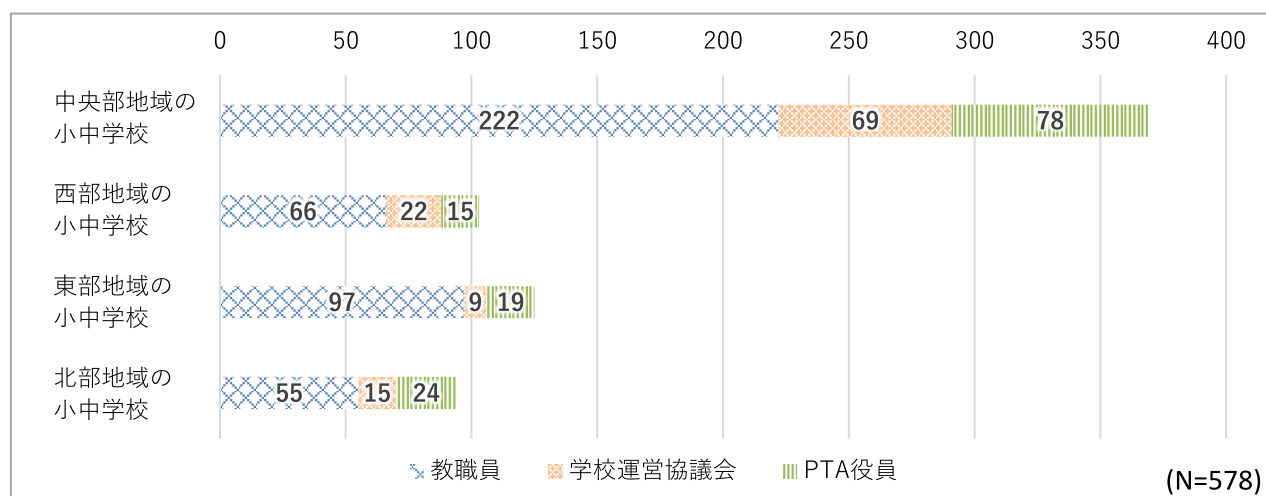


【PTA 役員】

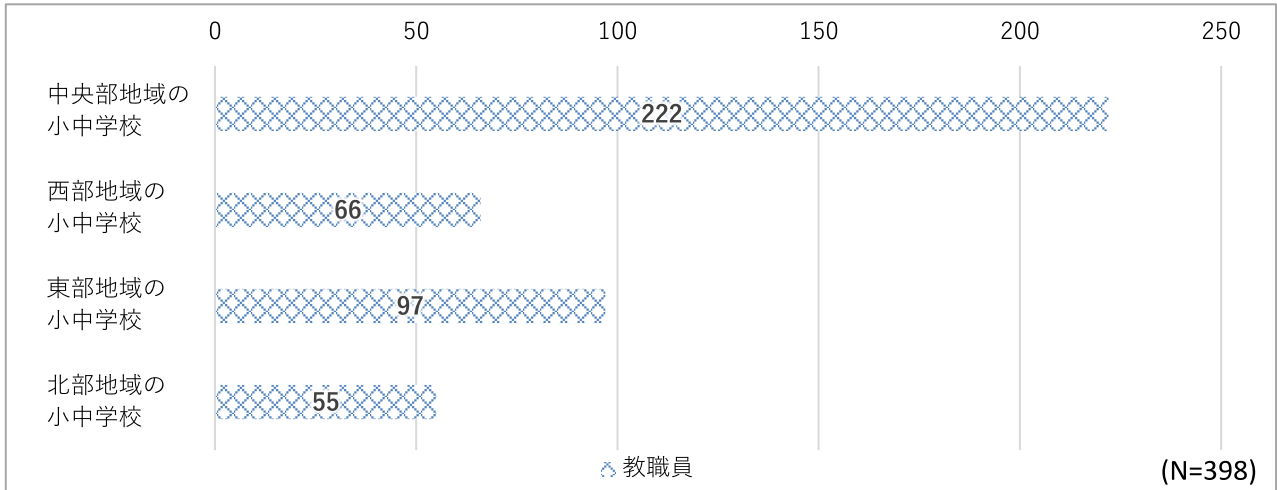


Q2. あなたの現在関わりの深い学校（複数回答可）をお答えください。

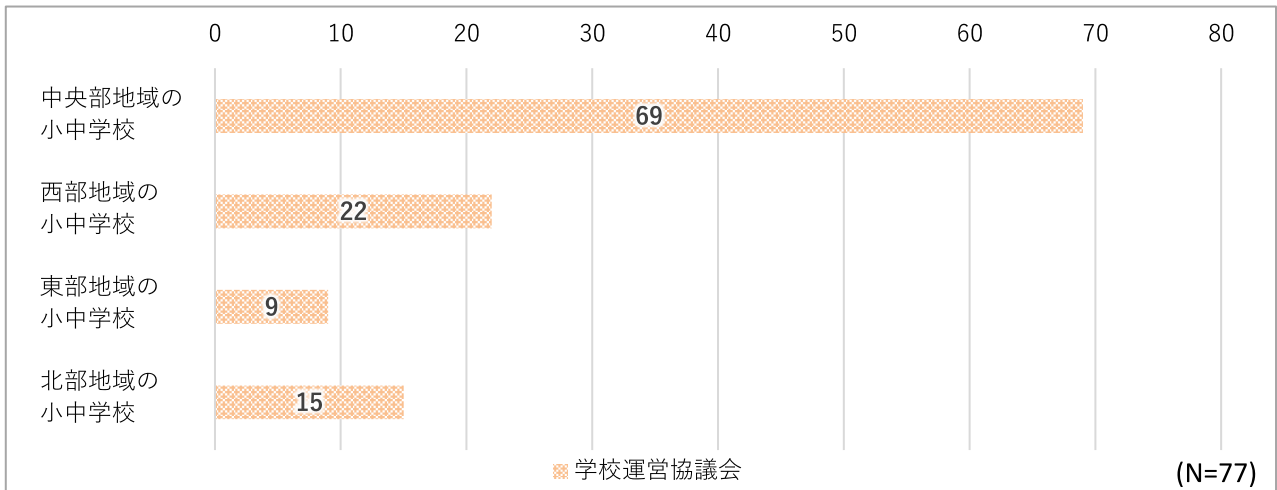
【総計】



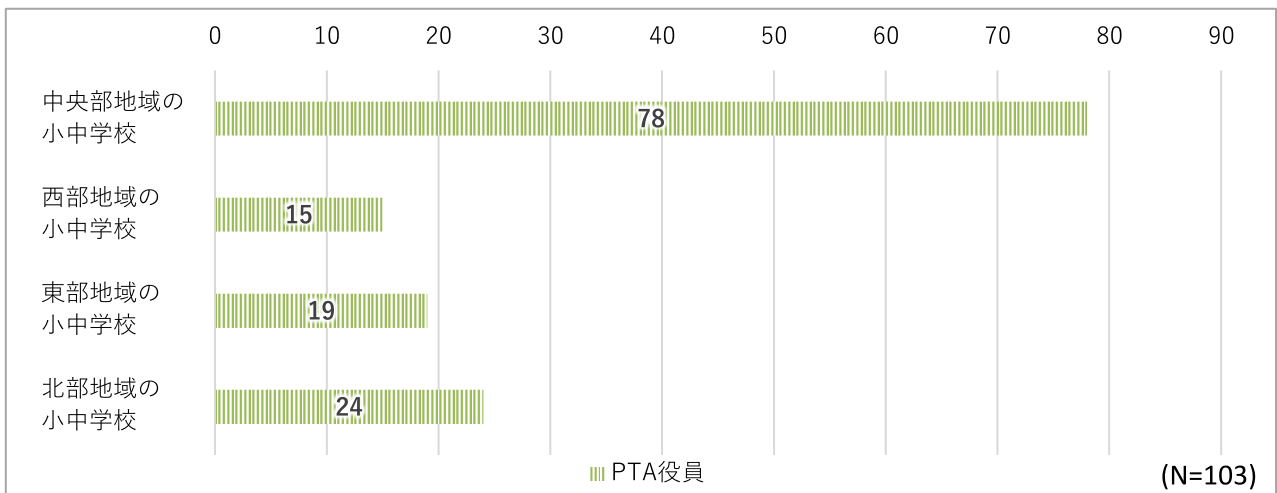
【教職員】



【学校運営協議会】



【PTA 役員】

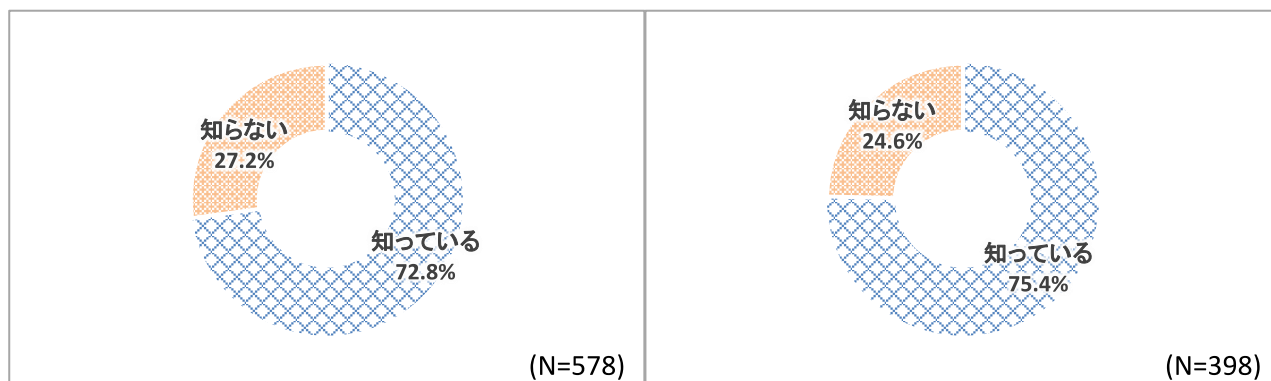


※各学校の地域分けは「宇部市学校施設長寿命化計画【改定版】」本編 20 ページ記載の地域区分図の例による。

Q3. あなたは、本市の公共施設を取り巻く課題（施設老朽化と厳しい財政状況）をご存じですか。

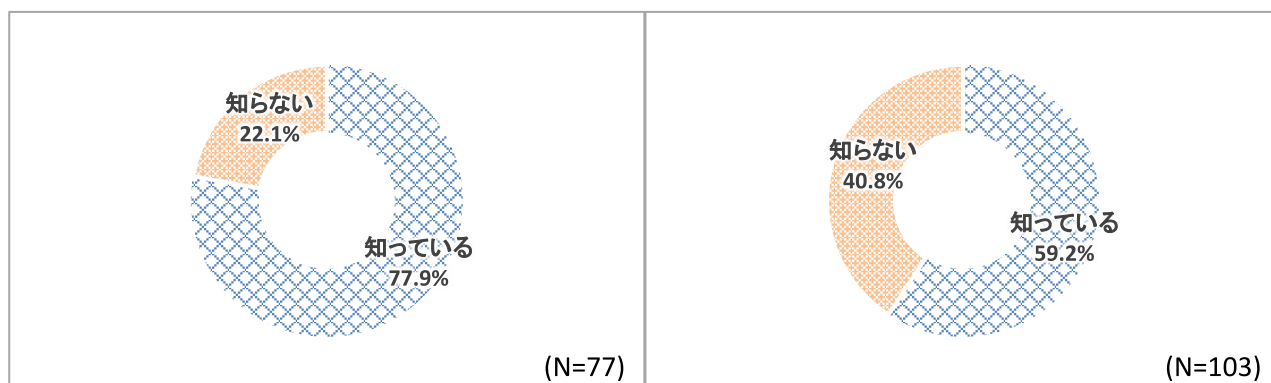
【総計】

【教職員】



【学校運営協議会】

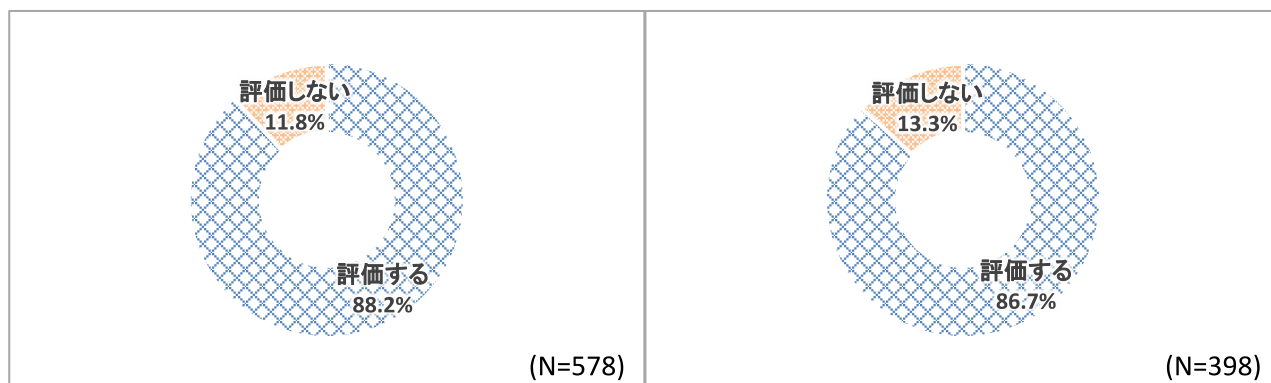
【PTA 役員】



Q4. あなたは、市が現在、全ての公共施設を対象に進めている公共施設マネジメントの取組である「量を減らす」「大切に使う」「かしこく使う」「将来に備える」の4原則を評価しますか。

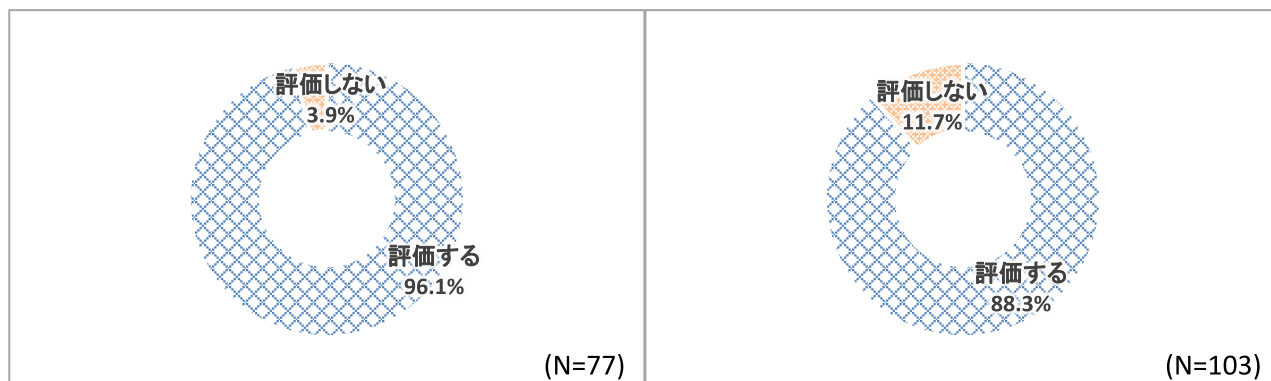
【総計】

【教職員】



【学校運営協議会】

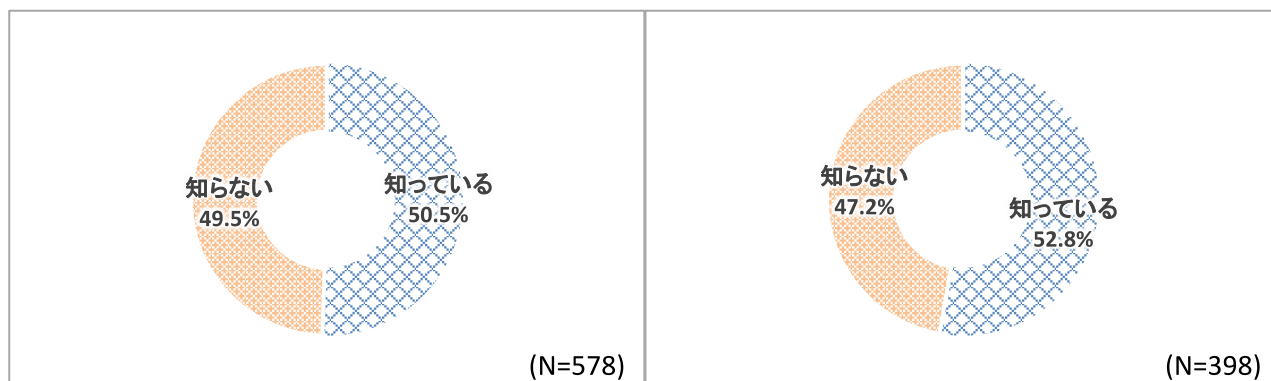
【PTA 役員】



Q5. あなたは、学校施設も公共施設マネジメントの取組の対象となっていることをご存じですか。

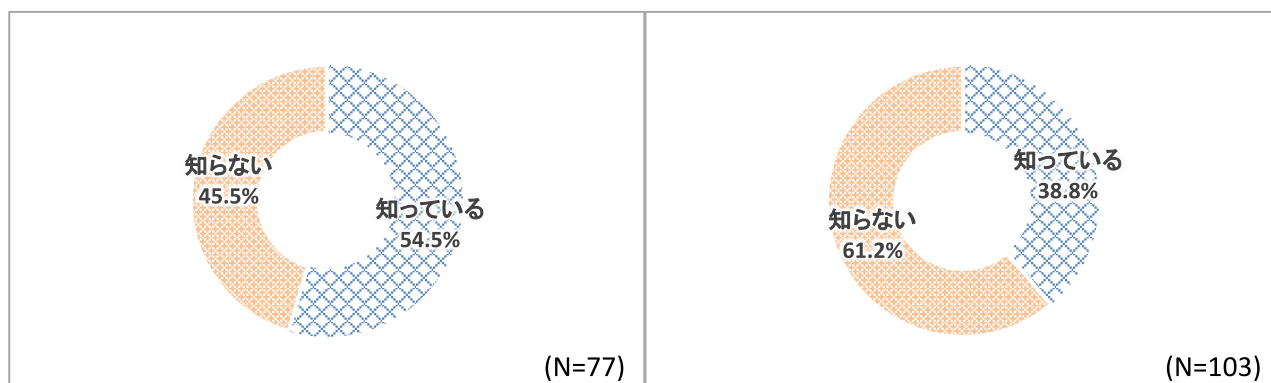
【総計】

【教職員】



【学校運営協議会】

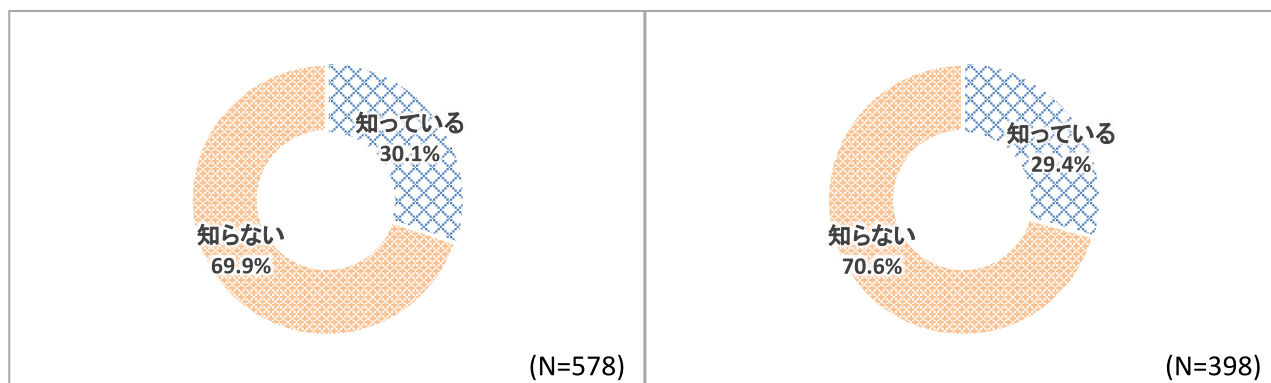
【PTA 役員】



Q6. あなたは、学校施設についても、「宇部市学校施設長寿命化計画」に基づき、令和 3 年度から公共施設マネジメントの取組を進めていることをご存じですか。

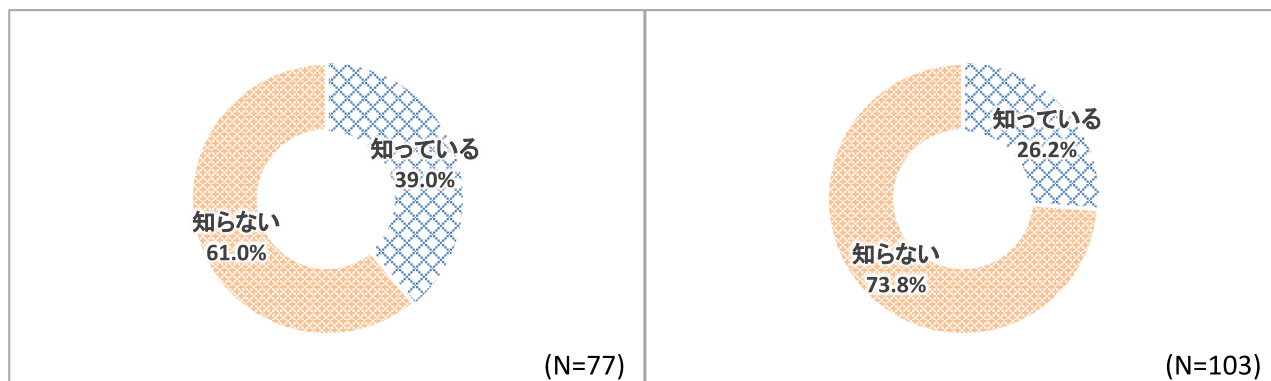
【総計】

【教職員】



【学校運営協議会】

【PTA 役員】



Q7~10. 限られた財源の中で、学校施設を維持・更新するためには、様々な対応策が必要となります。次の4つの対応策について、あなたの考え方に近いものをそれぞれ1つ選んでください。

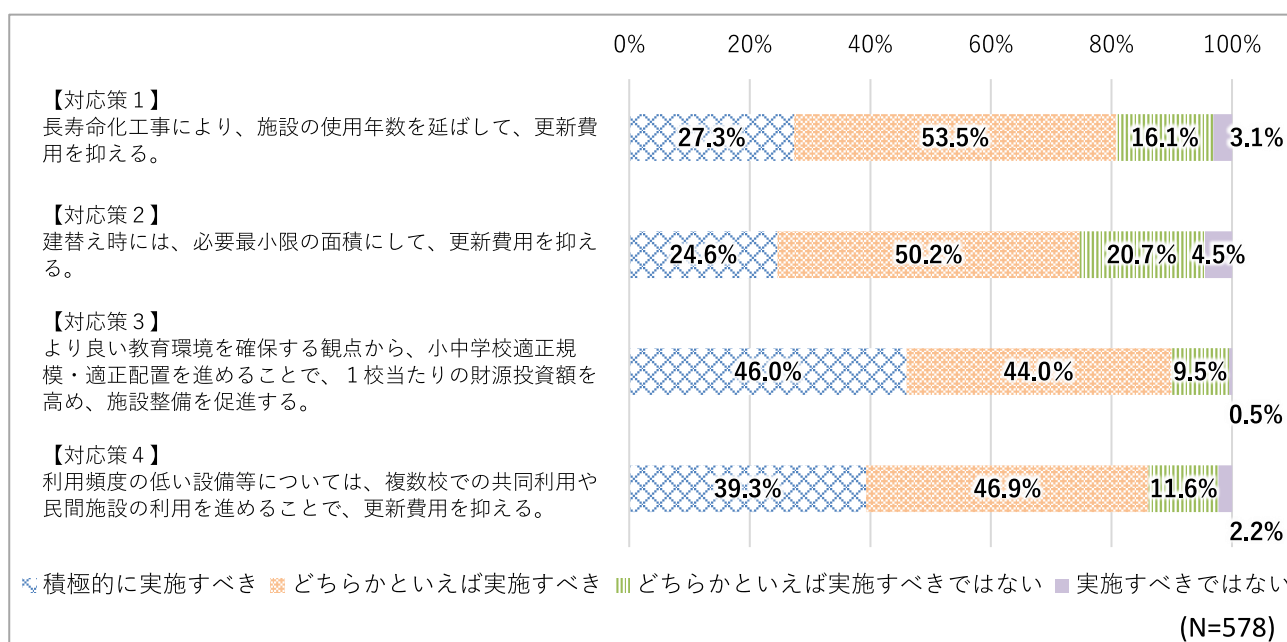
【対応策1】長寿命化工事により、施設の使用年数を延ばして、更新費用を抑える。

【対応策2】建替え時には、必要最小限の面積にして、更新費用を抑える。

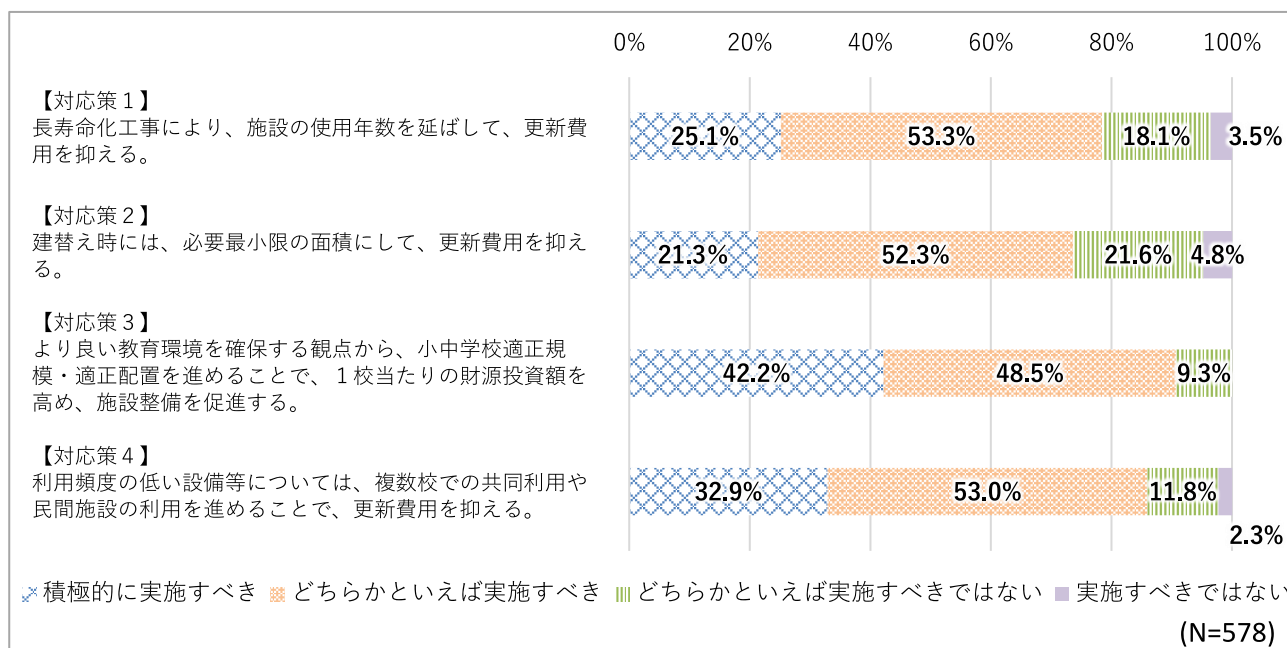
【対応策3】より良い教育環境を確保する観点から、小中学校適正規模・適正配置を進めることで、1校当たりの財源投資額を高め、施設整備を促進する。

【対応策4】利用頻度の低い設備等については、複数校での共同利用や民間施設の利用を進めることで、更新費用を抑える。

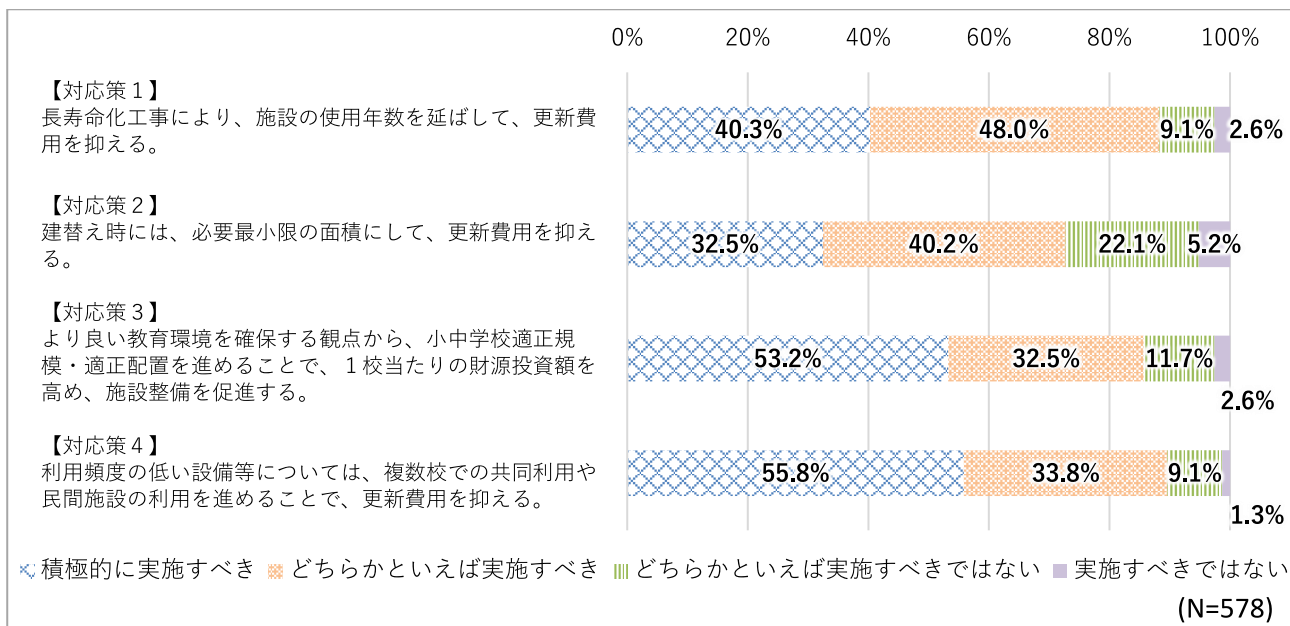
【総計】



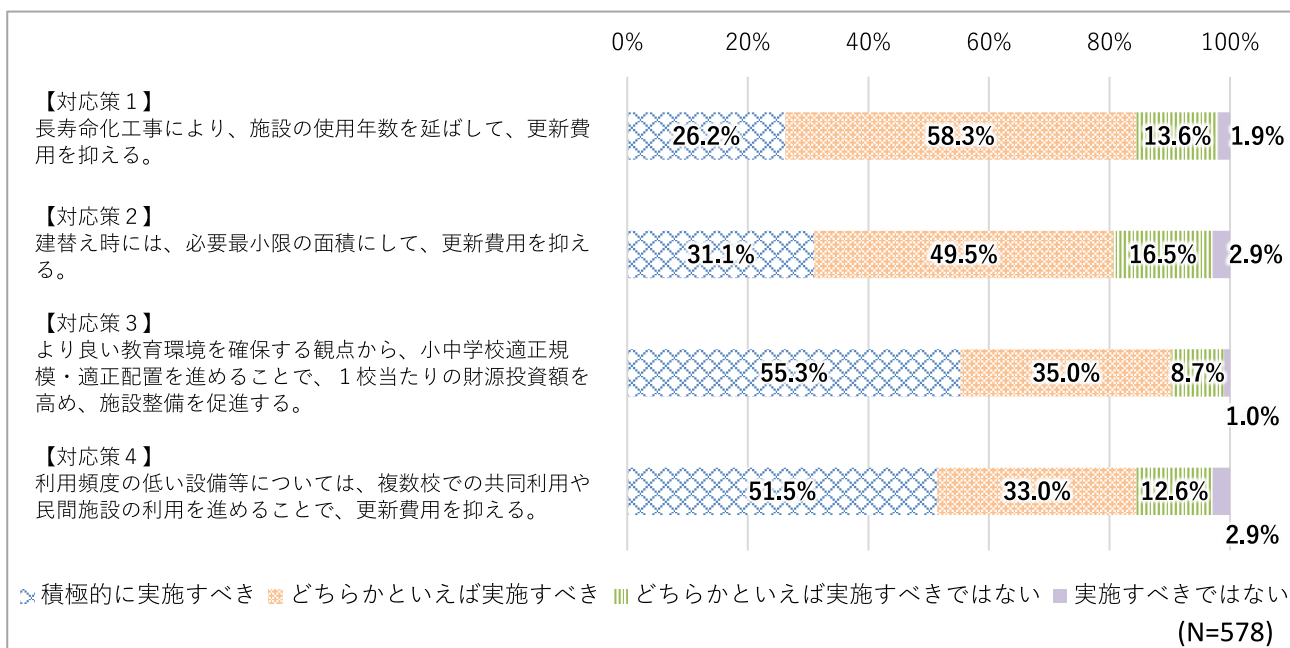
【教職員】



【学校運営協議会】



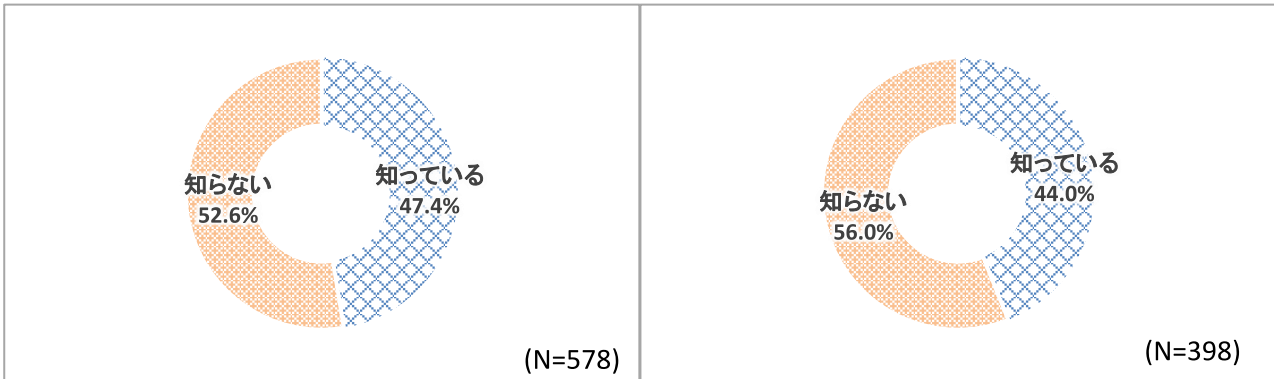
【PTA 役員】



Q11. 市では、複数の施設を複合化することにより、総量（総延床面積）の縮減を目指しています。学校施設についても、複合化の取組を進めていることをご存じですか。【例】岬小学校複合施設（体育館＋ふれあいセンター＋学童保育施設）

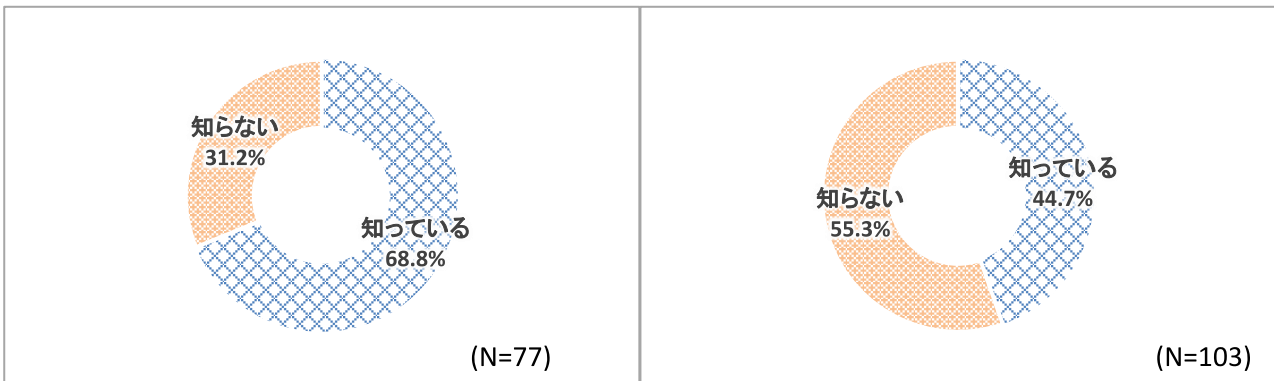
【総計】

【教職員】



【学校運営協議会】

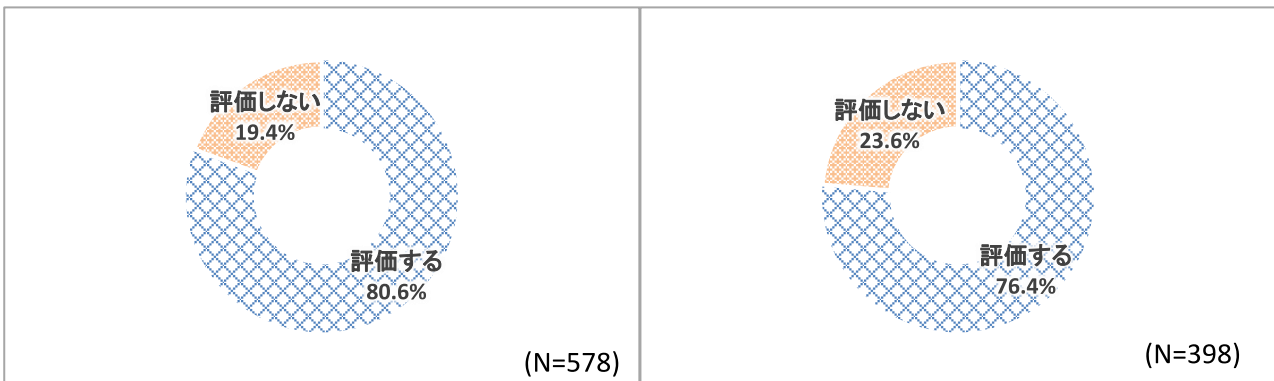
【PTA 役員】



Q12. 【Q11.】の取組について、お尋ねします。あなたは、この取組を評価しますか。

【総計】

【教職員】



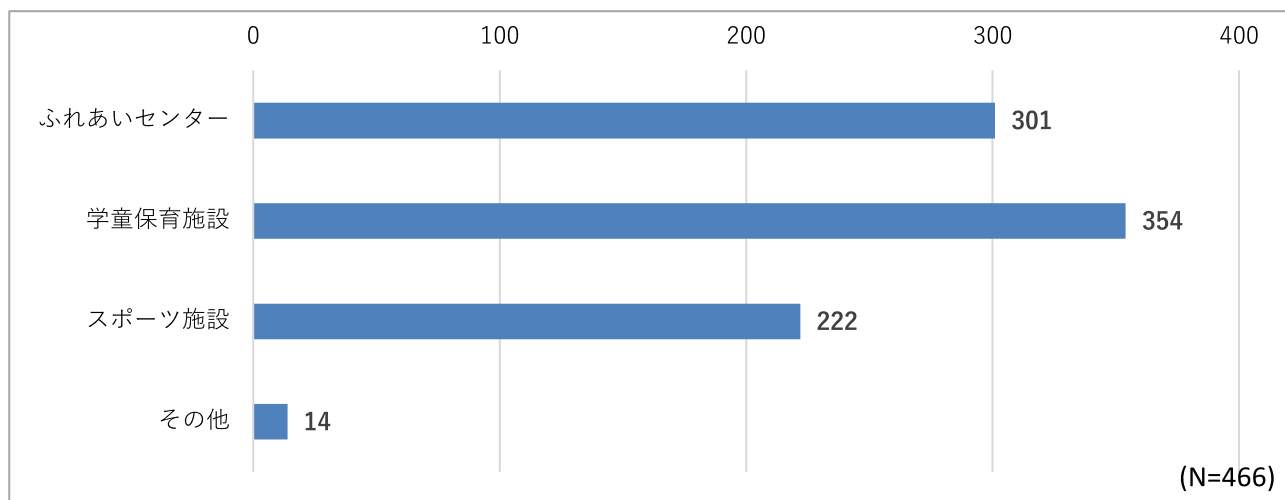
【学校運営協議会】

【PTA 役員】

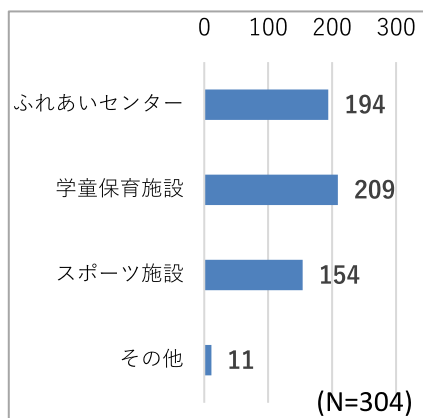


Q13. 【Q12.】で「評価する」とお答えになった方は、学校施設と複合化すべき公共施設として、何がふさわしいとお考えですか。当てはまるもの全てにチェックをつけてください。

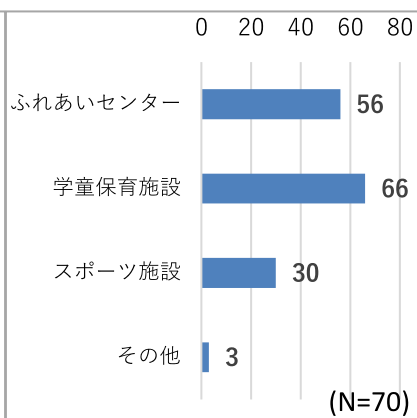
【総計】



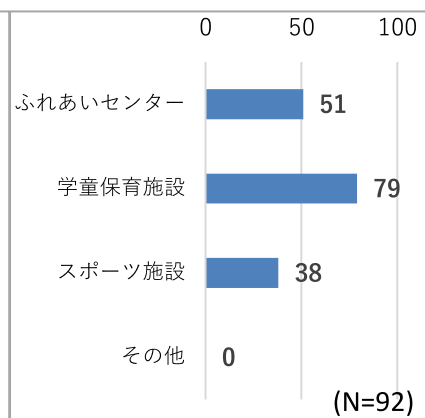
【教職員】



【学校運営協議会】



【PTA 役員】



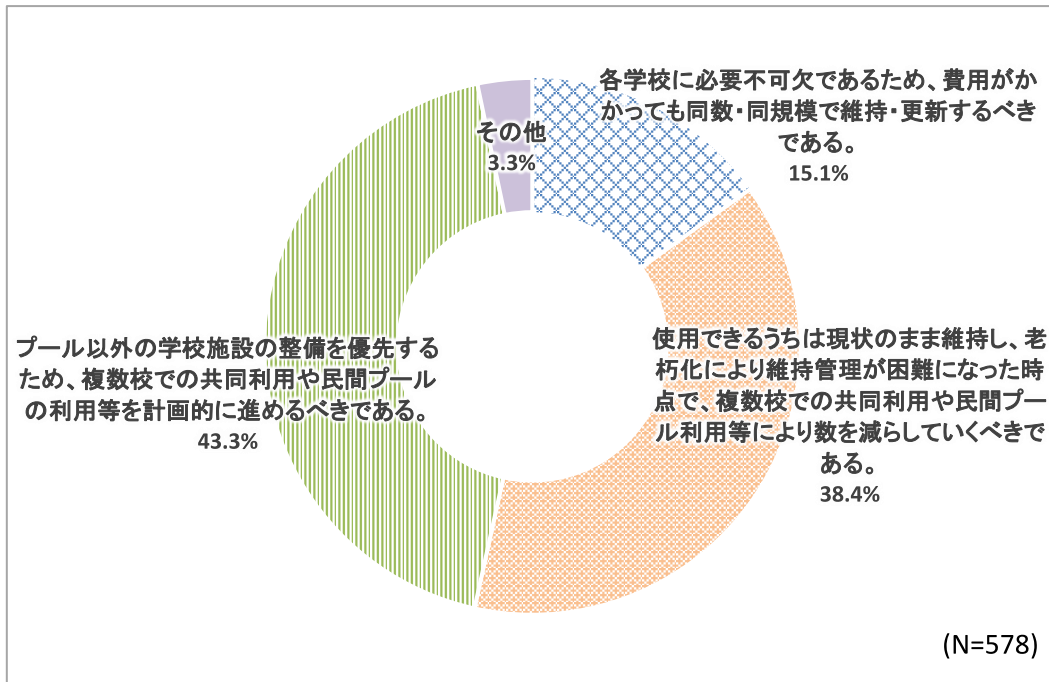
Q14. 【Q13.】で「その他」を選択された場合、その内容をご記入ください。

分類	回答(抜粋)
複合化の対象施設	市民センター、公民館（ふれあいセンター）、保育園、公園、図書館、高齢者関連施設（デイサービス、老人ホーム）、防災施設など
その他	小学校敷地内に中学校を併設など、小中一貫校、義務教育学校の設置

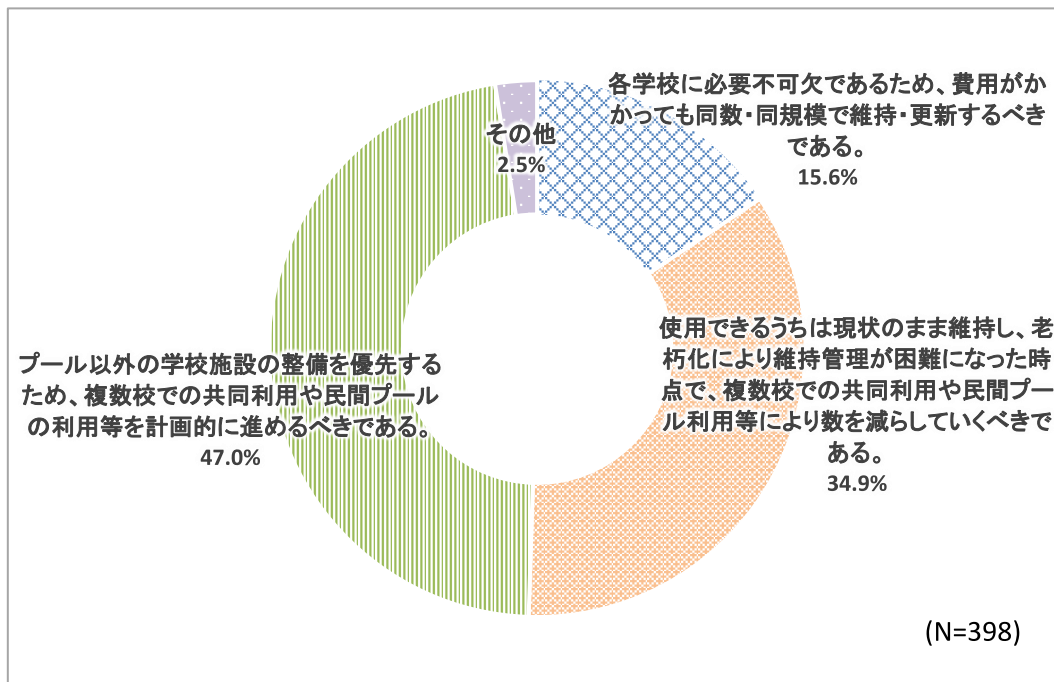
※回答者 12 人（教職員 10 人、学校運営協議会委員 2 人）からの回答の抜粋。

Q15. 小中学校のプールは築50年を経過したものが約7割を占め、老朽化が進む一方で、年間の授業時間は1学年当たり10時間程度で利用期間は限られています。今後、全てのプールを維持・更新することが財政的に困難となる可能性がある中で、将来的な小中学校プールのあり方として、あなたの考え方に最も近いものは次のうちどれですか。

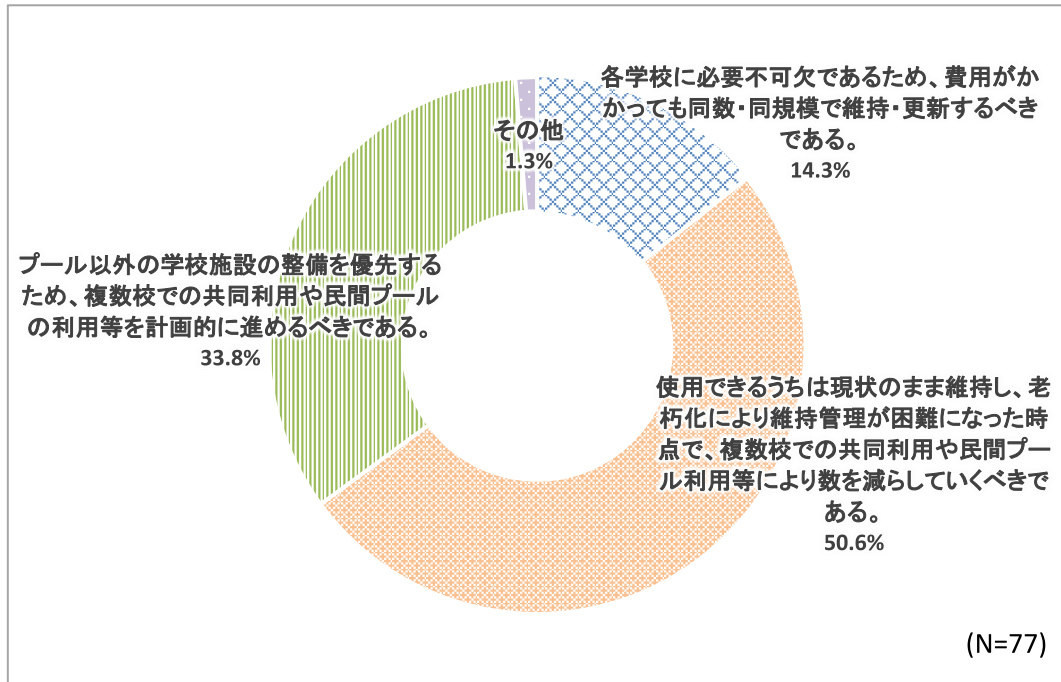
【総計】



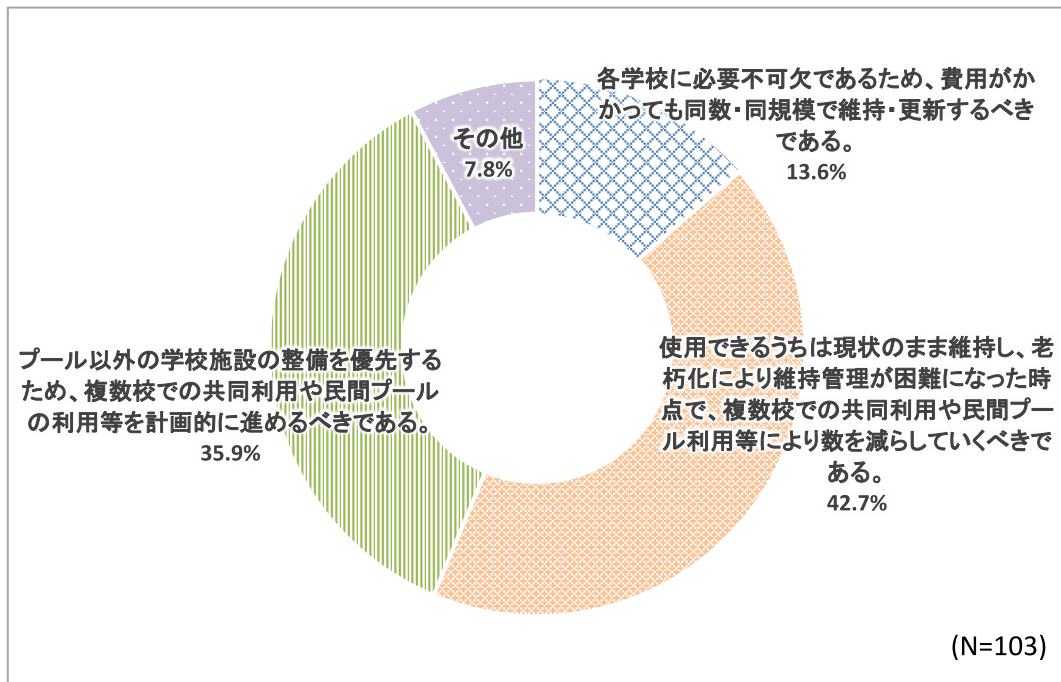
【教職員】



【学校運営協議会】



【PTA 役員】



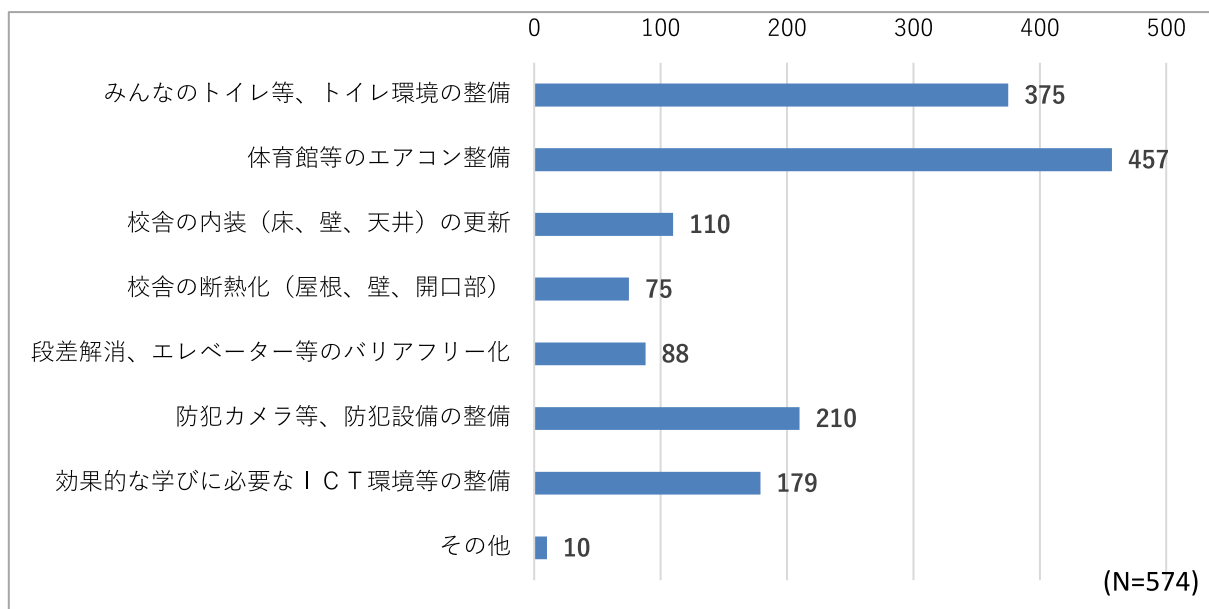
Q16. 【Q15.】で「その他」を選択された場合、その内容をご記入ください。

分類	回答(抜粋)
社会体育施設との兼用	・屋内型の市民プールを市内数カ所に建設し、小中学校が利用する
学校プールの機能向上	・学校のプールを天候等に係わらず、通年利用できる屋内型プールにする
学校プールの有効活用	・授業や部活動で利用しないときは、学校のプールを有料で一般に開放し、その利用料を維持管理の財源とする
水泳授業の見直し	・水泳授業の民間委託を進める ・熱中症など児童生徒の安全面や教職員の負担面を考慮して、水泳授業自体の必要性についても考えていく必要がある
その他	・児童生徒が学校教育の中で、平等に水の事故から命を守る術を身につけられる機会や環境が必要 ・現時点では選択できない

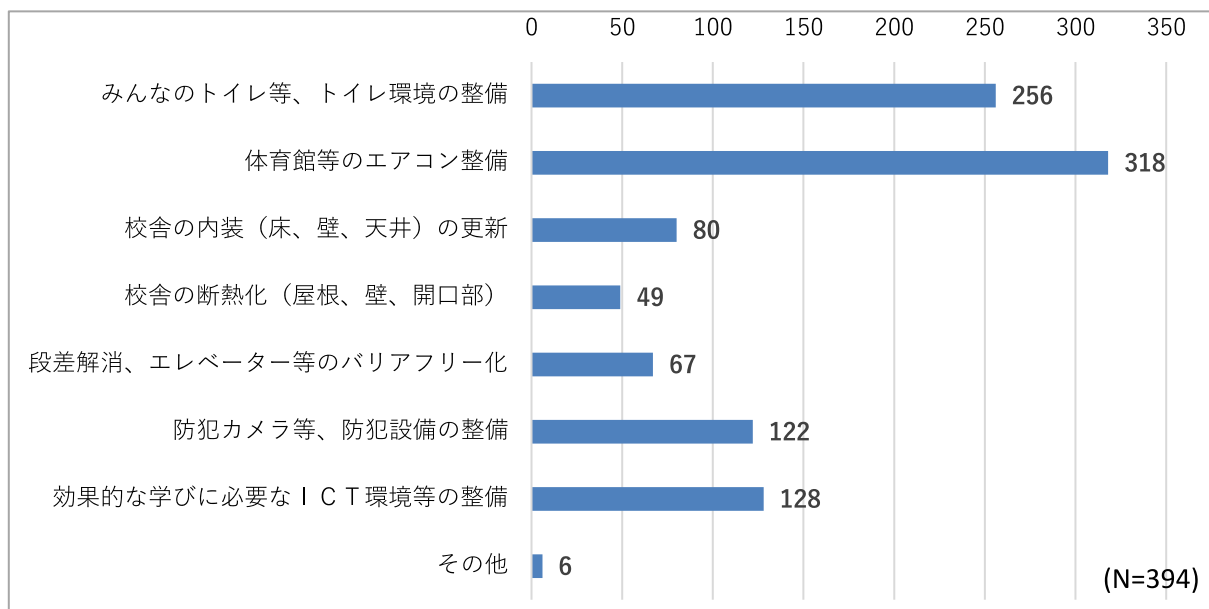
※回答者 18 人（教職員 10 人、学校運営協議会委員 1 人、PTA 役員 7 人）からの回答の抜粋。

Q17. 既存学校施設の整備について、今後、限られた財源の中で、何を優先すべきとお考えですか。耐震化（令和6年度完了済）、外壁改修（コンクリート落下防止等安全対策）、屋根防水改修（雨漏り防止）、照明のLED化（蛍光灯の製造禁止対応）以外で当てはまるものにチェックをつけてください。

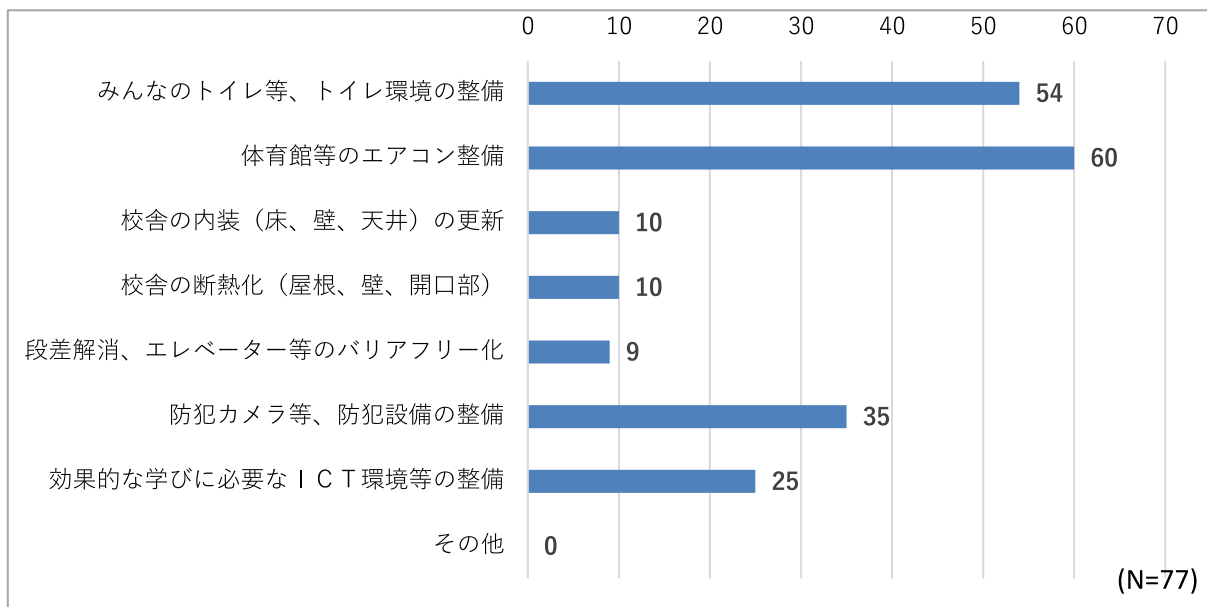
【総計】



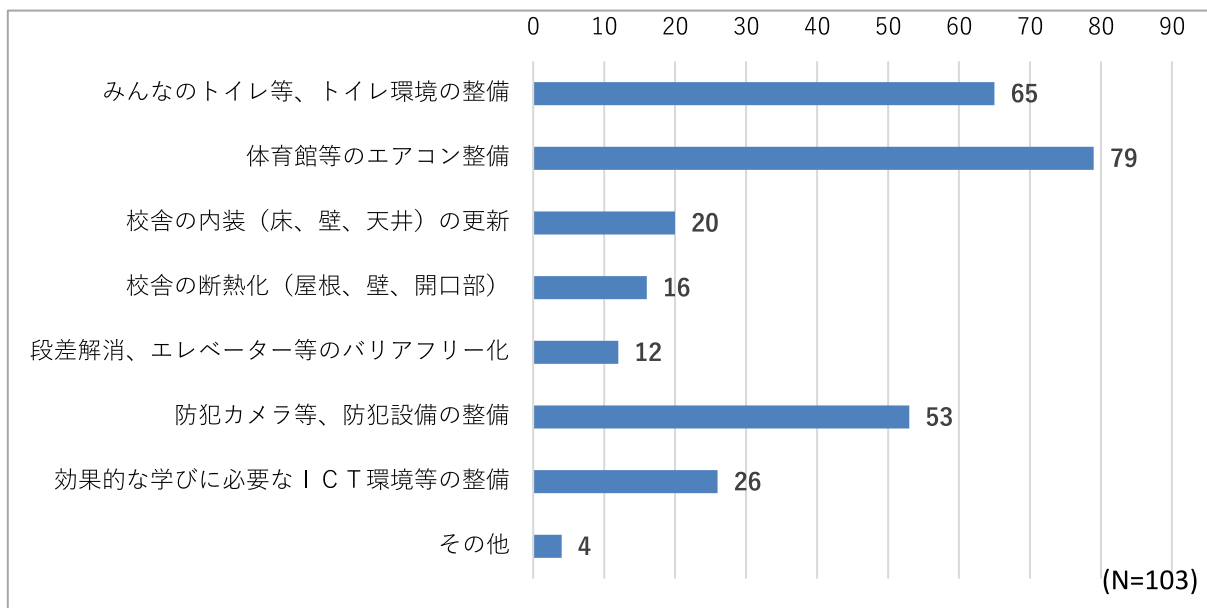
【教職員】



【学校運営協議会】



【PTA 役員】



Q18. 【Q17.】で「その他」を選択された場合、その内容をご記入ください。

回答なし

Q19. その他、学校施設のあり方について、自由なご意見をお聞かせください。

分類	意見(抜粋)
学校施設のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにとって、安心・安全な学校施設であることが大切 ・児童生徒に十分な学習環境を提供できる施設であることが必要 ・地域交流の場として、様々な年代の誰もが安心して利用できる施設であることが必要 ・児童生徒が夢を描いて日々過ごせる施設であることが必要
改善要望 (全般)	<ul style="list-style-type: none"> ・便利・快適という観点よりも、子どもたちの安心・安全を最優先に整備を進めてほしい ・一般家庭等が便利になってく中で、学校施設も社会状況等の変化に合わせた改善が必要 ・誰もが安心して利用できるよう、ユニバーサルデザインを取り入れてほしい ・施設を更新する際には、掃除のしやすさなども重視してほしい ・老朽箇所はきちんと直してほしい ・すべての学校一律ではなく、学校毎に地域性等を踏まえた整備も必要 ・工事の際には、学校の意見をしっかりと聞いてほしい
改善要望 (個別)	<p>【トイレ環境の改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童のトイレがほとんど和式のため、洋式トイレを増やしてほしい ・トイレが古く、暗く、においがきついなど、衛生的でないため、トイレの環境をよくしてほしい ・学校でトイレを我慢している子どもがいると聞いているので、誰もが毎日使うトイレの改善を最優先で行ってほしい ・多目的トイレを整備してほしい ・職員トイレの環境も改善してほしい <p>【空調設備の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒や教育の健康安全のためにも、まだ設置されていない体育館や特別教室にエアコンを設置してほしい <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段差の解消 ・インターネットなど、ICT 環境の整備 ・老朽化し、物も入りにくいロッカーや下足入れの整備 ・防犯カメラの設置 ・建物の断熱性の向上 ・将来的にエレベーター設置する場所の確保 ・遊具の安全性の向上 ・樹木管理や雑草対策の充実 ・机や椅子の更新 など

分類	意見(抜粋)
学校の適正規模・ 適正配置 (統廃合)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校統合により学校数を減らした上で、建替えを進めていくことが必要 ・子どものことを第一に考えて、適正配置を早急に進めてほしい ・無駄な投資をしないためにも、速やかに適正配置実現の方向性を決定することが必要 ・北部地域等における少人数を理由とした統廃合は行うべきではない ・登校距離等を考慮した統廃合を検討すべきであり、選択の自由があってもよい ・コミュニティ・スクールへの関心・理解が深まっているからこそ、適正配置の取組は慎重かつ丁寧に進めてほしい ・統合により通学区域が広がる場合は、スクールバスなどの導入検討が必要 ・学校は統廃合しても、体育館や運動場は地域に残してほしい ・学校がなくなっても、避難所等、有事の際に困らない計画にしてほしい ・統廃合よりも、児童生徒の数を増やしていく政策に注力してほしい
施設の複合化	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと地域の交流や多世代交流の面からも複合化には意義がある ・限られた財源の中で、施設を有効活用するためには公共施設の複合化は必要 ・ふれあいセンターとの複合化や併設は費用の面でもコミュニティ・スクールの面でも効果がある ・地域に開かれた学校の良さと、防犯面のデメリットのバランスが難しい ・学校施設を複合化や共有化を図る際には管理面（施設運営、危機管理、人員配置等）について、学校、行政、地域がしっかりと事前協議、共通理解をすることが必要 ・会社や病院等、民間施設との併設も検討してみてもどうか
施設の共同利用・ 民間利用	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の考え方を改め、民間利用等、思い切った施策で次世代に対応した学校施設にしていく必要がある ・プールの民間利用は推進してほしい ・プールだけでなく、運動場や体育館の共同利用も検討を進めるべきではないか ・複数校での利用は小規模校でないと難しいのではないか ・民間利用や共同利用には、移動時間が必要で、授業時間が短くなる ・民間利用や共同利用については、移動手段や費用負担等を踏まえた検討が必要
施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・大学や民間企業等との連携を通して、廃校施設を有効活用し、財源の確保や地域活性化につなげてほしい ・地域が行っている教室を開放するなど、空き教室を有効活用するとよい ・屋外で遊べる環境が減ってきているので、小学校の運動場を放課後、子どもたちに開放してほしい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのために、他の予算を削ってでも、教育にお金をまわすべき ・掃除をしっかりするなど、今ある学校施設をみんなが大切に扱うことも大事 ・施設整備の財源として、ふるさと納税やクラウドファンディングの活用検討 ・維持管理の財源として、学校施設開放時の体育館利用料等の徴収検討 ・教職員の負担軽減を図るための施設管理方法等の見直し（市に管理を移管、委託化、地域との連携等） ・施設整備関係以外の予算確保(教材購入費等) ・30人学級の推進

※回答者 133 人（教職員 78 人、学校運営協議会委員 27 人、PTA 役員 28 人）からの意見の抜粋。